



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を
つくりました

地元の声

・ 常日頃、崩壊の危険を背中合わせの生活を強いられている。早期に対策を行ってほしい。（地元住民）

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆ 法枠の整備により、斜面の風化を防ぎがけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：桐生市黒保根町下田沢
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：平成30年度～令和5年度

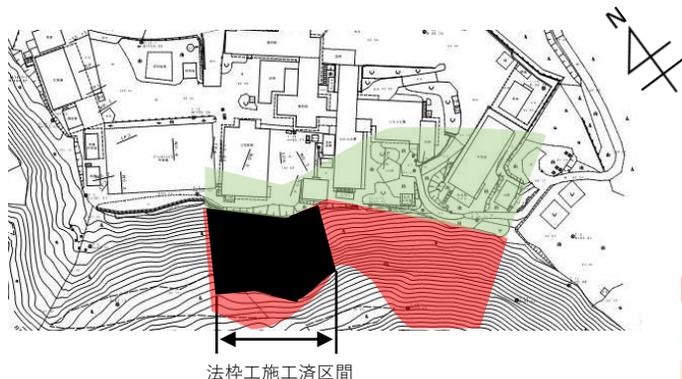
※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和5年度完了）

今、何をしているか

令和5年度に本事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了